



令和4年8月号

「第三の居場所」

日本財団が取り組んでいる「子どもの第三の居場所」はご存じでしょうか？「日本財団子どもサポートプロジェクト」の1事業で子ども達の居場所作りの支援をしています。一時期は子ども食堂に注目が集まり、ニュースなどでも取り上げられていましたが、「子どもの第三の居場所」は、様々な形での居場所作りをサポートする取り組みになります。日本財団のホームページを見ていると「子ども支援」「障害児（者）支援」にとっても力を入れているのが分かります。この国の礎としての子どもの支援には共感出来る内容がたくさんあるので、時々ホームページを確認しながら見識を広げています。

日本財団子どもサポートプロジェクト

https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/child_support

「子どもの第三の居場所」は、貧困などの特別に支援が必要な子どもに向けた話ではなく、全ての子ども達に共通の事だと捉えています。私たちが運営をしている児童発達支援や放課後等デイサービスも実はその様な側面があります。

子ども達の生活の中では家庭や学校（保育園・幼稚園）が一日の中で8～9割を占めています。私たちの事業所に居る時間は残りの1～2割です。その中で、子ども達の発達支援をしているのですが、1割2割の活動時間の中で取り組む事が出来る範囲は限られています。

もちろん、事業所の活動の中で何か特別な力が付けば良いのですが、それと共に、

- 学校や家庭での取り組みに新しい視点でアプローチをする
- 何かに取り組む・挑戦をするきっかけになる
- 成功体験の中で自信になる
- 自分自身の事に気が付く（良い部分もそうでない部分も）
- 親でも先生でもない斜め上の関係性
- 自分の事を知ってくれている大人や仲間がいる

上記の様な体験や関係性作りが重要と考えています。

学校（保育園・幼稚園）でも家庭でもない、違った視点で子どもを観る事で、その子の新たな側面に気が付く事が出来て、それが子どもの自信に繋がっていく…

私たちの事業所もその様な「子どもの居場所」を目指しています。

児童通所課 嵯峨憲司



7月活動報告

活動報告

7月に入り1学期の曜日別プログラムも終わり、ついに夏休みに入りました。MJ入間では子どもたちが楽しく過ごし成長できるよう職員と一緒に準備を進めています。充実した夏休みを過ごしましょう！！



情報機器プログラムでは電源を入れる、シャットダウンするといった基本操作を中心に行いました。



受験対策プログラムでは、入退室でのお辞儀の仕方やタイミングなどを練習しました。



夏祭り準備 MJ入間夏祭りで飾るドームライトを作りました。着々と準備を進めています。



曜日別対抗選手権を夏休み限定で行っています。週替わりでゲームを変えています。



祝日プログラム

7/18(月)祝日プログラムは「茶道体験プログラム」を行いました。ウッドデッキを茶室に模様替えをし、更に抹茶は茶葉を挽くところから取り掛かりました。Instagramに投稿していますのでぜひご覧ください。

祝日プログラムのお知らせ・お願い

☆9月19日(月) ...10月10日祝日に入間で実施予定のMJ3事業所の交流バザーの為の作品作りや、接客の練習を行います。

☆9月23日(金) ...MJ所沢主催の交流バザーに参加します。新型コロナウイルス感染拡大に伴い変更する場合がございますが感染対策を徹底し、皆様を楽しめるプログラム内容を計画しておりますので是非ご参加ください。

☆熱中症対策について
暑い日が続いています。MJ入間では適宜水分補給をするよう子ども達に声掛けを行っています。水筒や汗を拭くタオルのご用意をお願いいたします。